

帰宅支援型タクシー実証実験 (港南区永野・永谷地区)

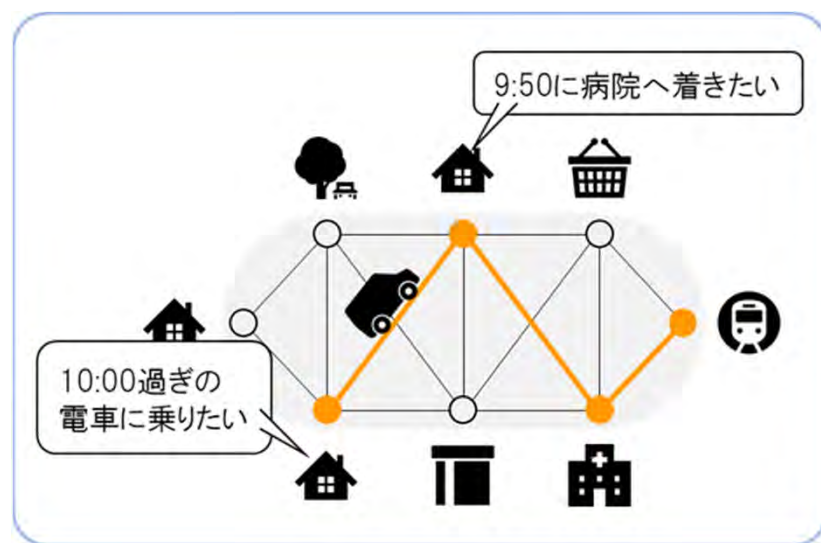
令和5年9月15日

**令和5年度 第2回 地域公共交通会議 資料
横浜市 都市整備局都市交通部 都市交通課**

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■これまでの経緯

- 「地域交通サポート事業※」を活用してきた地区の中には、移動ニーズの多様化などにより、**十分な需要が見込めない地区が増加**
- 小規模需要の地区における**新たな移動サービスを検討する必要性**
- 点在する需要における移動手段の確保や運行効率性を高めるには**デマンド型交通**が移動手段の一つとして有効
- これまで地域主体で検討を進めてきた港南区永野・永谷地区において、**令和4年度にデマンド型交通の実証実験を実施**



一般的なデマンド型交通の運行イメージ

※地域交通サポート事業とは

地域の主体的な取組によって移動手段の確保や持続可能な運行がスムーズに進むように、地域に対して様々な支援を行う事業

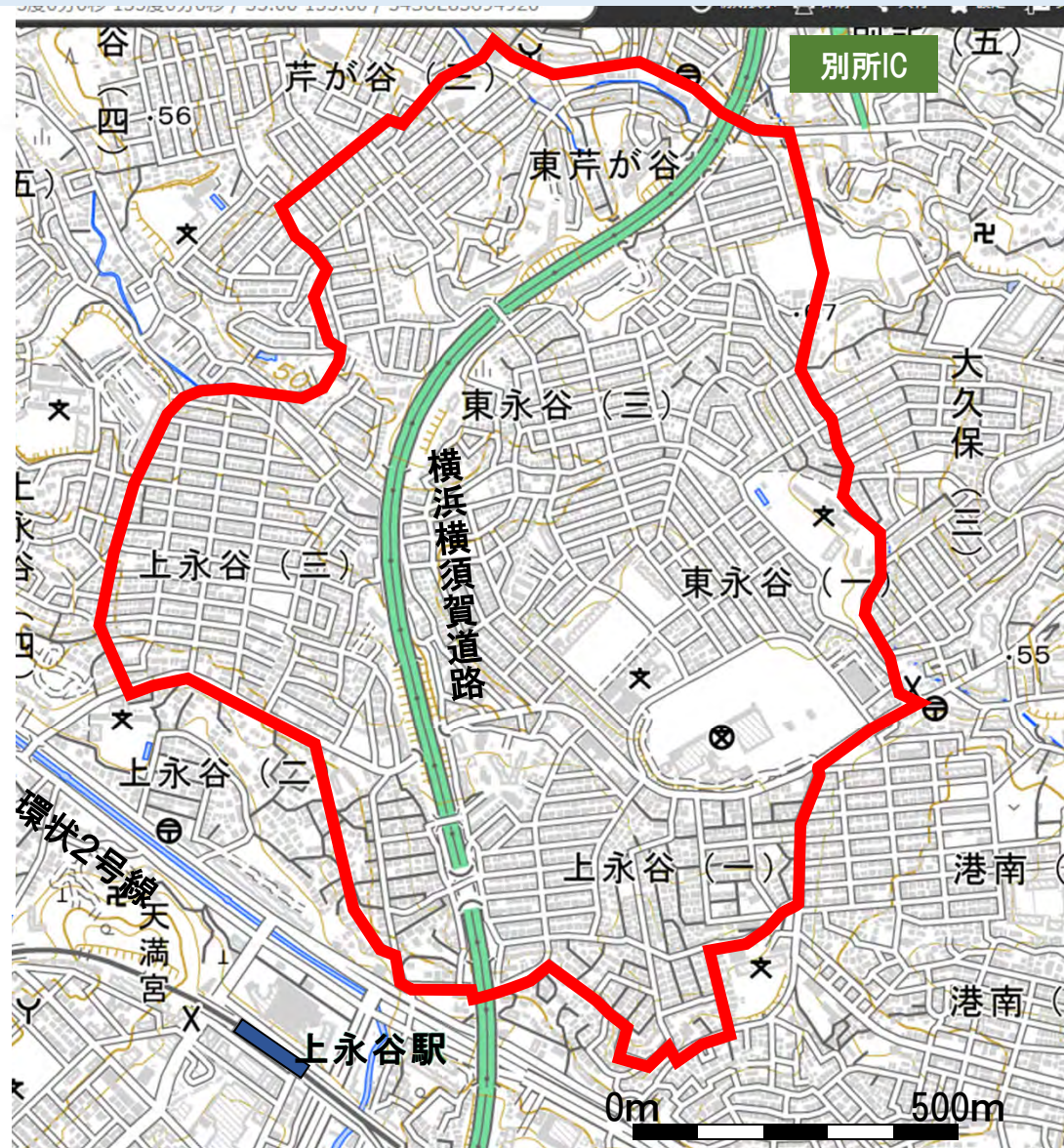


議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■位置図



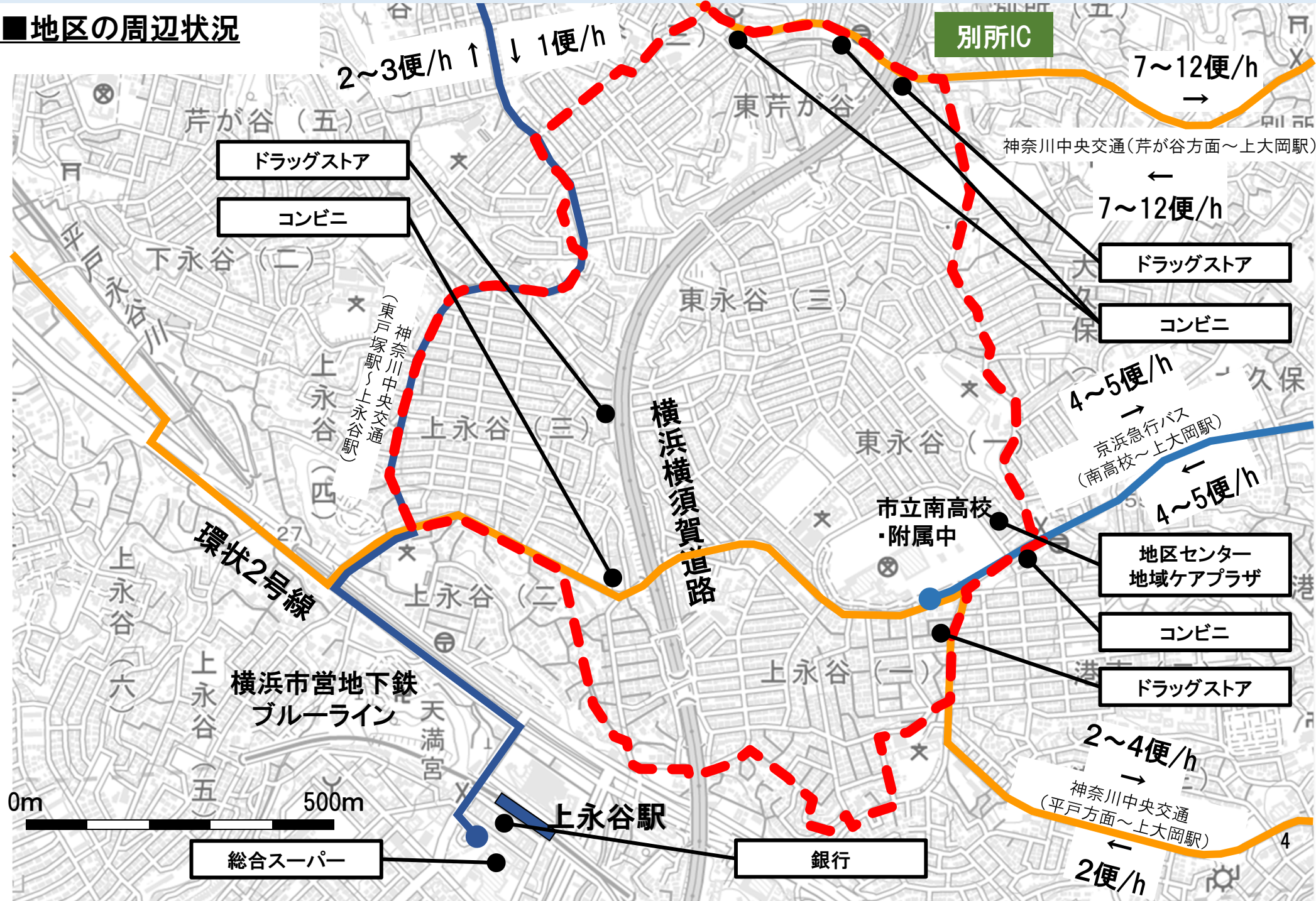
港南区永野・永谷地区の様子



- 人口 約15,000人、約5,000世帯
- 高齢化率 約29.3%
- 市営地下鉄ブルーライン上永谷駅北側に位置
- 戸建住宅中心の丘陵地

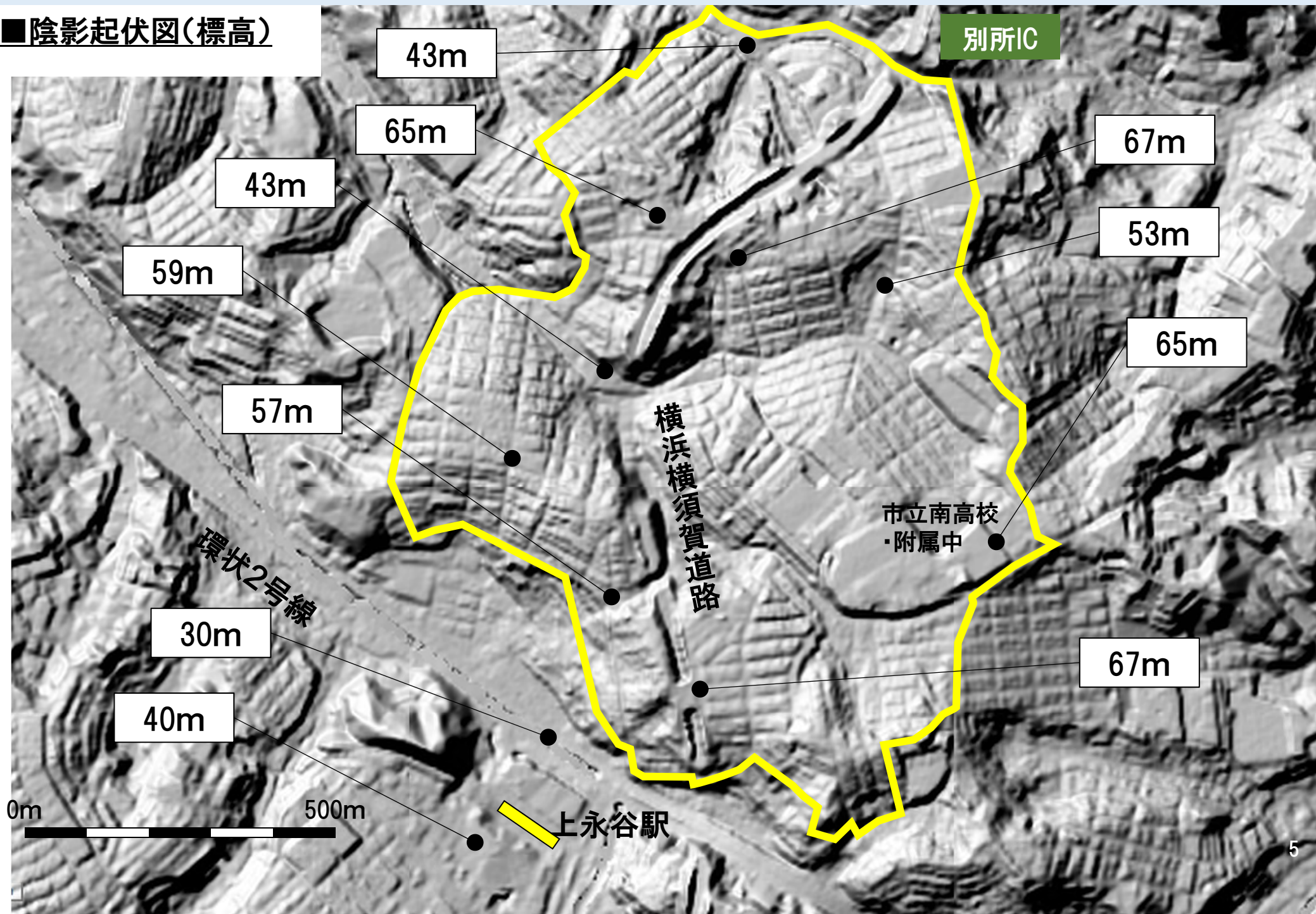
議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

地区の周辺状況



議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

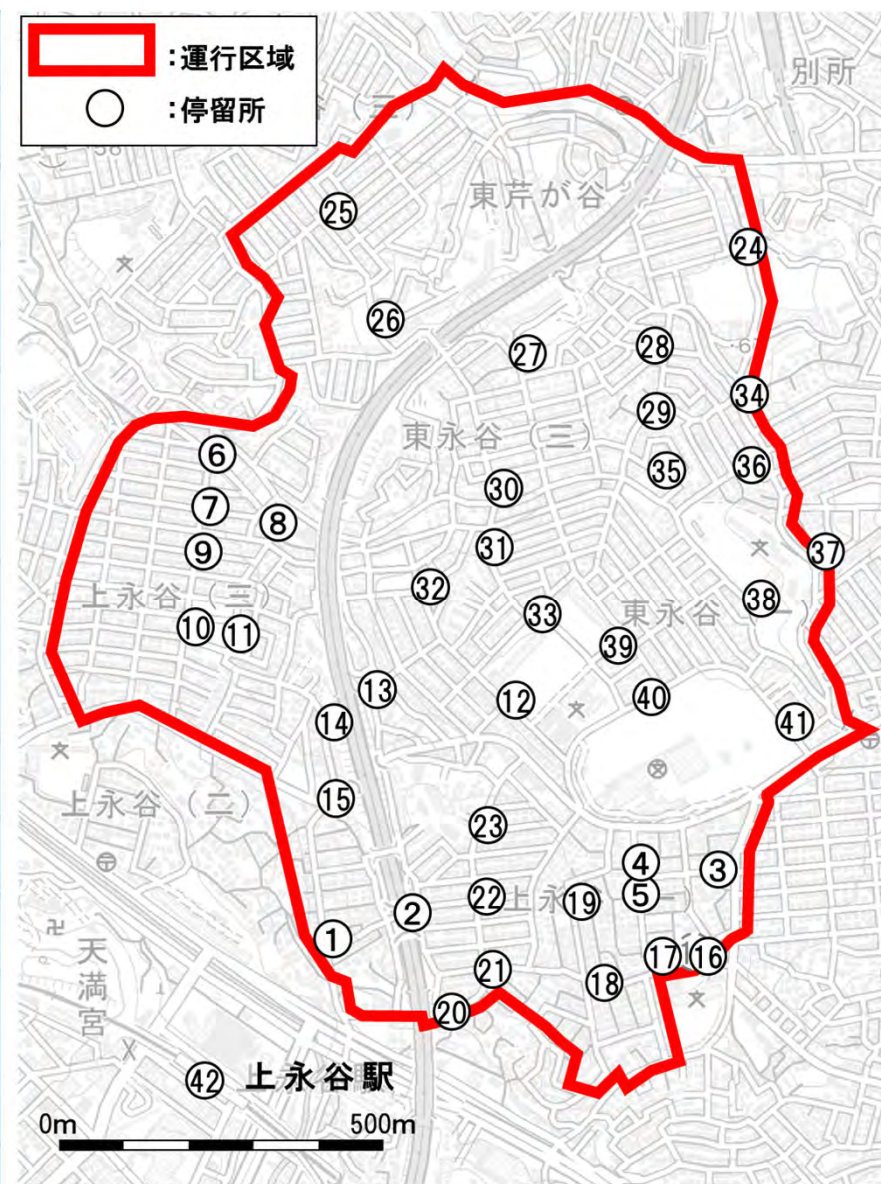
■陰影起伏図(標高)



議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■令和4年度 デマンド型交通実証実験概要

運行事業者	湘南交通株式会社(港南区丸山台)
システム運営	株式会社NTTドコモ
事業の許可	道路運送法第21条(乗合旅客運送) 区域運行
運行期間	令和4年10月3日(月)から令和5年3月17日(金)まで
営業区域	港南区永野・永谷地区 (上永谷一、二、三丁目、東永谷一、二、三丁目、 東芹が谷、芹が谷三丁目)
利用対象者	港南区永野・永谷地区に居住している65歳以上の方 利用者登録を済ませた方
運行車両	ワゴン型車両(10人乗り)1両
運行区間	営業区域及び上永谷駅
停留所	40か所
運行時間	平日・午前10時00分から午後5時00分まで ※土休日及び年末年始は運休
運行回数	「電話」又は「インターネット」からの予約に応じて運行
運賃	一乗車400円(現金)



(運行区域及び停留所)

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■利用促進の取組

1. 広報

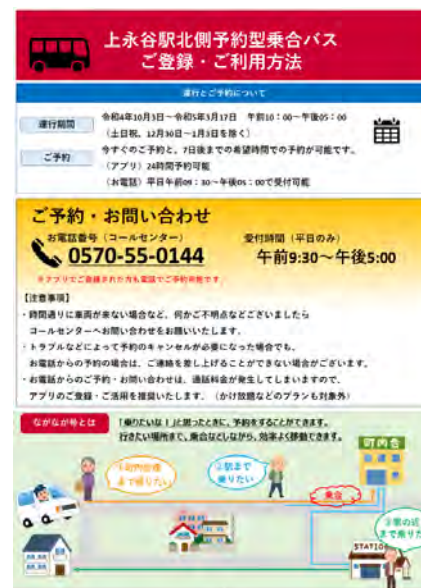
- ・チラシの全戸配布
- ・港南区民まつり、ふれあいまつり時のチラシ配布
- ・乗降ポイントへのチラシ設置
- ・掲示板へのチラシ設置

2. イベント・企画

- ・利用者登録会
参加者合計:82人

- ・無料乗車体験会

第1弾(計5日実施、利用者合計:29人)
第2弾(計9日実施、利用者合計:24人)



配布資料の例



無料体験乗車会の様子

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■利用実績

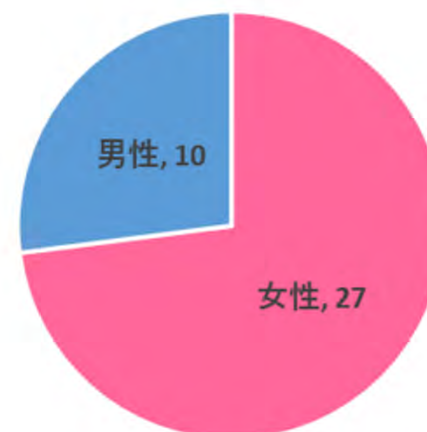
◎利用状況について

- ・利用登録者数:105人
(目標:180人)
- ・のべ利用者数:282人(2.5人/日)
(想定40人/日)
- ・利用時間帯:10時から13時台の利用が多い
- ・利用傾向:帰宅利用が約4倍

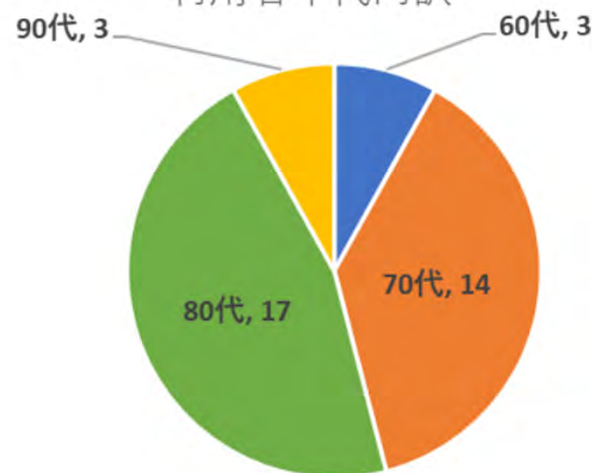
◎利用者属性

- ・女性比率が高い
- ・70代、80代の利用が支配的

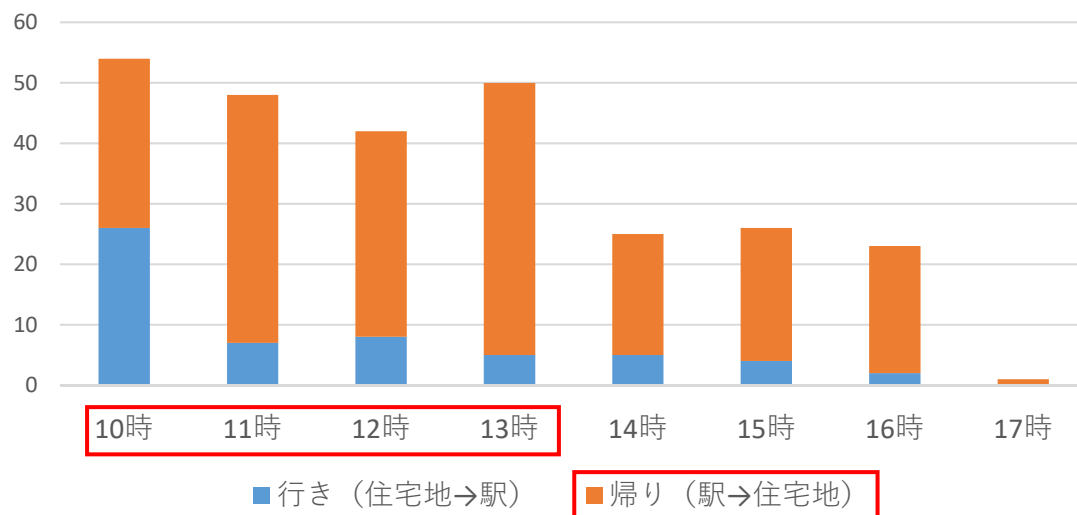
利用者性別内訳



利用者年代内訳



【時間帯別利用回数】

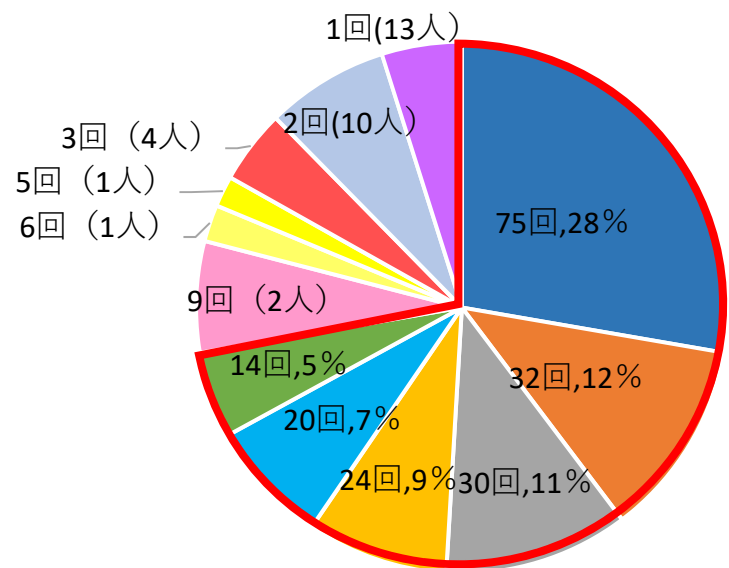


議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

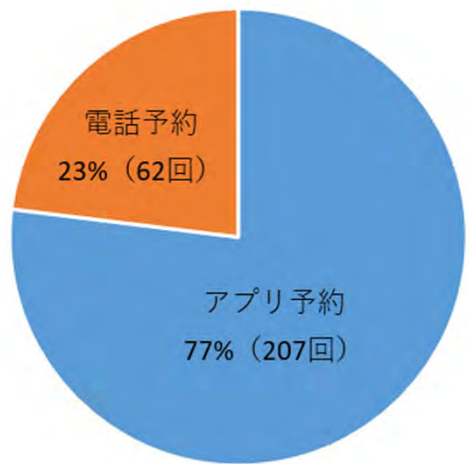
- ◎実利用者数:37人
- ・利用者上位6名で利用回数の約7割を占める

- ◎予約種別、利用人数別状況
- ・予約の大半がアプリ予約で、ほぼ1人での利用であった。

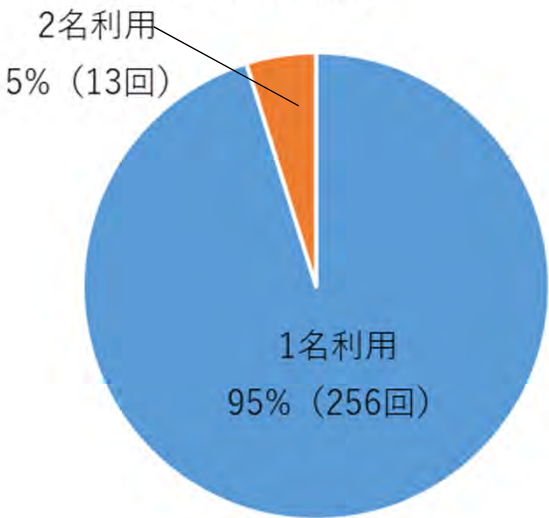
実利用者別回数



予約種別 (アプリ、電話)



利用人数別



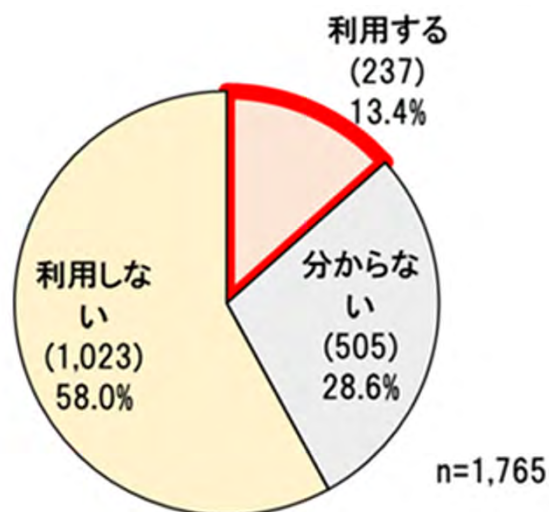
	自治会	年齢	主に利用するルート
1	上永谷月見ヶ丘睦会	8 1	4 2 → 1 9
2	渡戸自治会	8 6	4 2 → 3 2
3	歓永町内会	8 2	4 2 → 2 2
4	歓永町内会	7 0	4 2 → 2
5	上永谷月見ヶ丘睦会	7 3	4 2 → 1 9
6	渡戸自治会	7 0 代	2 6 → 4 2

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■ 利用低迷の原因分析

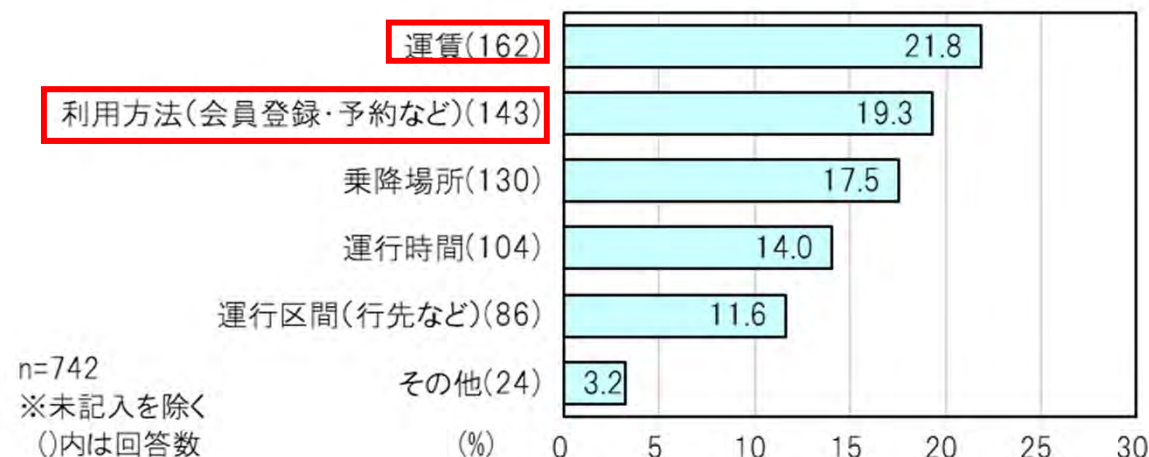
・地域によるアンケート調査結果より(令和3年12月)

【デマンド型交通の利用意向】



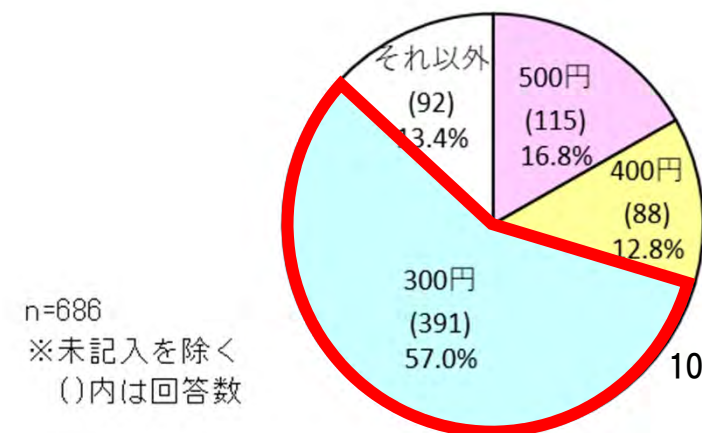
【改善して欲しい項目】

(利用する又はわからないと答えた方のみ回答、複数回答可)



【許容できる運賃】

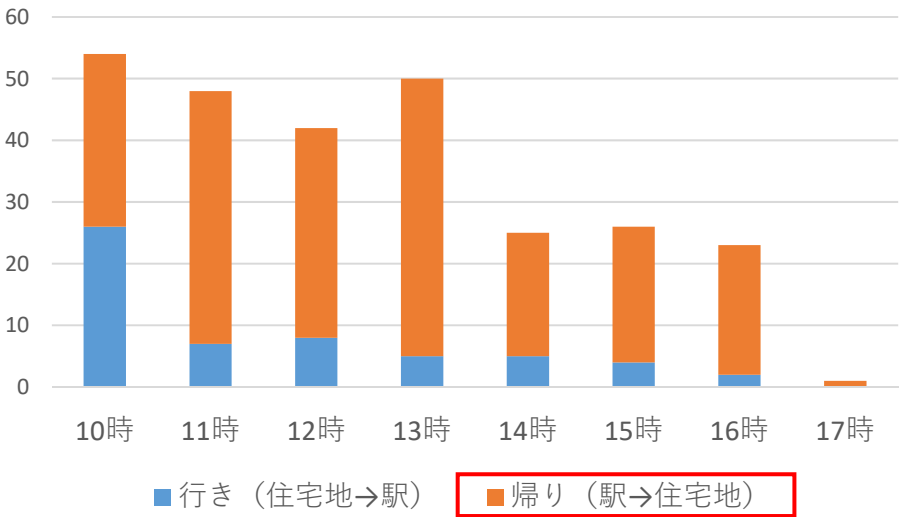
(利用する又はわからないと答えた方のみ回答)



- ・利用意向のあった237人に対し37人しか利用していない。
- ・改善して欲しい項目として、運賃や利用方法(会員登録・予約など)が多い。
- ・許容できる運賃は300円以下が約 6 割

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

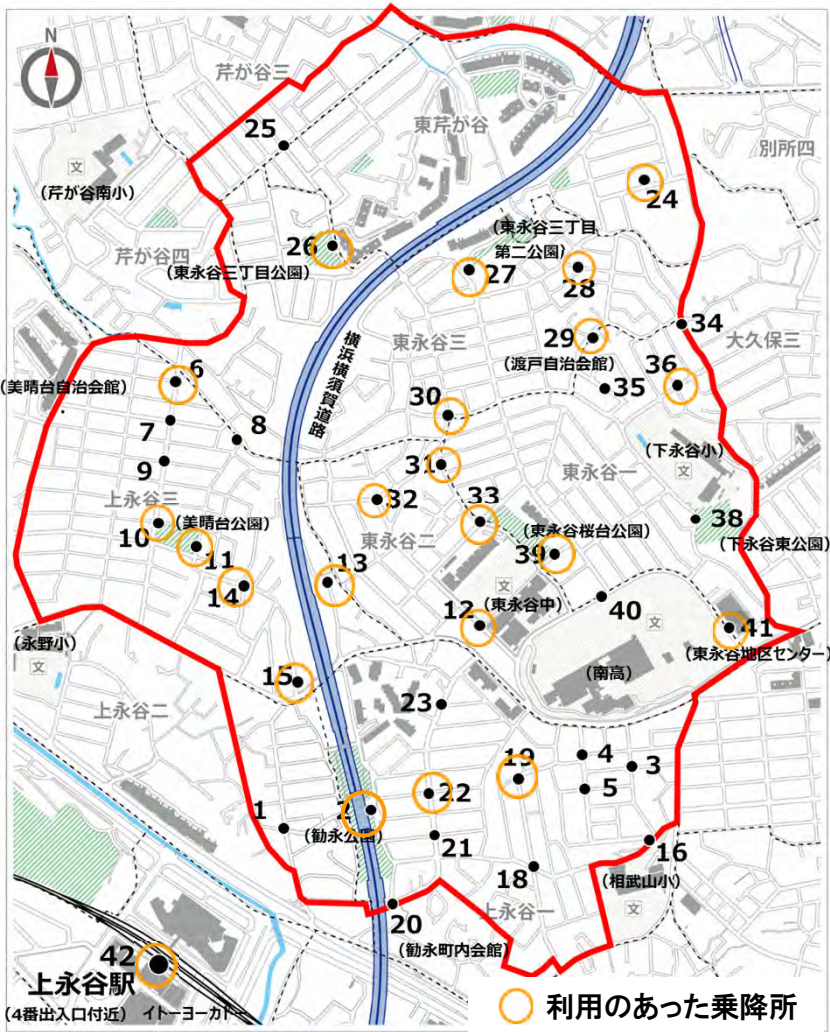
【時間帯別利用回数】



乗車ポイント上位10項目

順位	乗車ポイント	回数
1	4 2. 上永谷駅	212
2	2 6. 東永谷三丁目公園	15
3	1 9. 月見ヶ丘北	8
4	2 2. 勤永中央	6
5	6. 元春のや	6
6	1 1. 美晴台公園 (ひがし通り)	5
7	1 5. ローソン東側上	3
8	4 1. 東永谷地区センター・地域ケアプラザ	3
9	2 9. 渡戸自治会館	2
10	3 6. 松葉が丘A	2

【乗降所の利用状況】



- ・ 上永谷駅からの乗車が全体の約 8 割となっており、登りとなる帰宅の利用が多い。
- ・ 乗降所 40 箇所のうち 23 箇所が利用され需要は点在している。
- ・ バス停から近いエリアではバスを選択した可能性が考えられる。

■令和5年度の取り組みについて

- ・駅から比較的近い丘陵地は本市に多く存在
- ・予約抵抗を下げる運行方法の必要性 など踏まえ

地域ニーズを踏まえた帰宅支援型タクシーによる実証実験の実施

- ・運賃の改善意向が高いため、利用しやすい運賃を再検討
(400円→300円)
- ・予約などへの改善意向が高いため、予約不要の移動サービスを検討
(予約あり→予約なし)
- ・登りの移動手段が求められていたため、帰宅方向の移動ニーズに特化
(片道輸送)



導入による効果や課題を検証し、小規模需要に対応する移動サービスの選択肢を増やす。

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

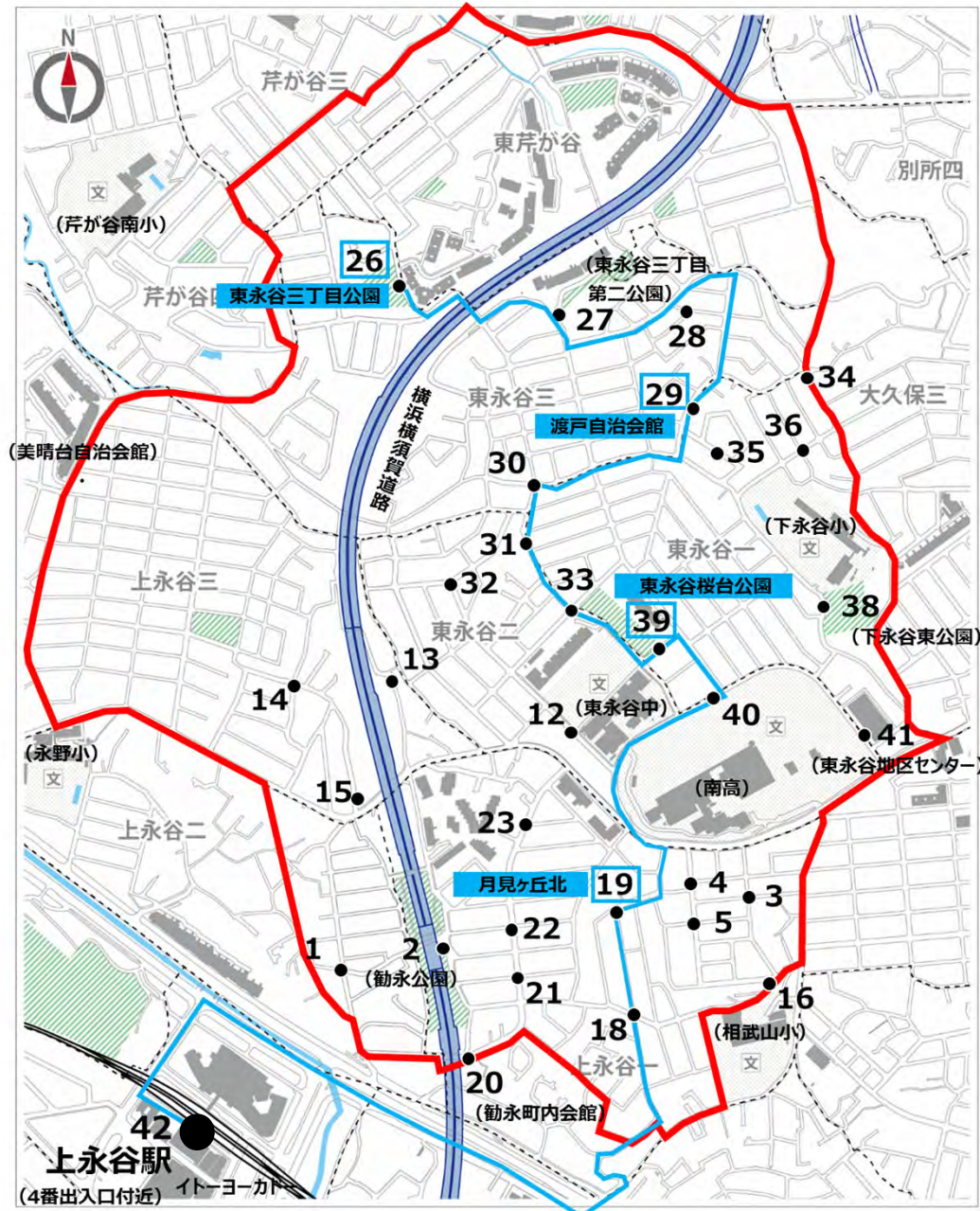
■令和5年度実証実験概要

※ 関係機関と調整中の内容を含むため、
今後、内容が変更となる場合があります

項目	内容
運行事業者	湘南交通株式会社（港南区丸山台）
事業の許可	道路運送法第21条（乗合旅客運送） ①区域運行（上永谷駅発：10時台～16時台） ②路線定期運行（地区発：10時台）
運行期間	令和5年11月15日から令和6年3月15日まで（年末年始除く） ※期間の延長の可能性あり
営業区域	港南区永野・永谷地区 （上永谷一、二、三丁目、東永谷一、二、三丁目、東芹が谷、芹が谷三丁目）
運行車両	セダン型車両：1両（乗客定員4人）予備車：2両※乗用事業と兼用
運行区間/ルート	①営業区域及び上永谷駅 ②起点（26番：東永谷三丁目公園）～終点（42番：上永谷駅）約3.4km
停留所	①乗車：1か所（上永谷駅） 降車：31か所（片道輸送） ②5か所（26番、29番、39番、19番、42番）
運行時間	平日・午前10時から午後4時30分（12時台は運休）※土休日及び年末年始は運休
運行回数	①上永谷駅10:30 以降毎時00分、30分発（利用者がいなければ当該便は運行しない） ②10時台：1便
運賃	一乗車 大人300円、小人150円（現金のみ）※未就学児は大人1人につき2人まで無料
車いす対応	車いすの折り畳みと介助者による介助によるご利用

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■運行区域及びルート・時刻表



地域のご意見を聞きながら、運行計画を作成

※ 関係機関と調整中の内容を含むため、今後、内容が変更となる場合があります

【区域運行の利用方法】

- ・上永谷駅から住宅地への片道輸送
- ・決められた出発時刻までに上永谷駅の乗車場所に並ぶ(予約不要)
- ・乗車後、決められた降車場所を乗務員に伝える
- ・利用者が複数の場合、降車の順番は乗務員にゆだねる。

【時刻表(路線定期運行)】

停留所	1 便
26番：東永谷三丁目公園	10:00
29番：渡戸自治会館	10:05
39番：東永谷桜台公園	10:10
19番：月見ヶ丘北	10:15
42番：上永谷駅	10:20

※停留所は昨年度の実験で乗車が多かった場所を選定

【凡例】

- ：運行区域
- ：停留所(昨年度の番号を利用し、停留所を一部除いたため欠番あり)
- ：②路線定期運行において乗降可能

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■想定利用者数

(算定手順)

令和4年度に実施したアンケート結果をもとに、令和5年度の運行計画に合うように条件を変更して算定

【住宅地→駅便(10時のみ)】

条件の変更箇所

- ・住まいの町内会
 - ・許容できる運賃
 - ・利用したい時間帯
 - ・年齢
- ⇒約8人/日

【駅→住宅地便(10時30分～16時30分)】

条件の変更箇所

- ・許容できる運賃
 - ・利用したい時間帯
 - ・年齢
- ⇒約60人/日

・想定利用者数(住宅地→駅)

約3人/日

※サポート事業の他地区における、アンケート結果に対する利用実績(約4割)による補正

・想定利用者数(駅→住宅地)

約24人/日

※サポート事業の他地区における、アンケート結果に対する利用実績(約4割)による補正

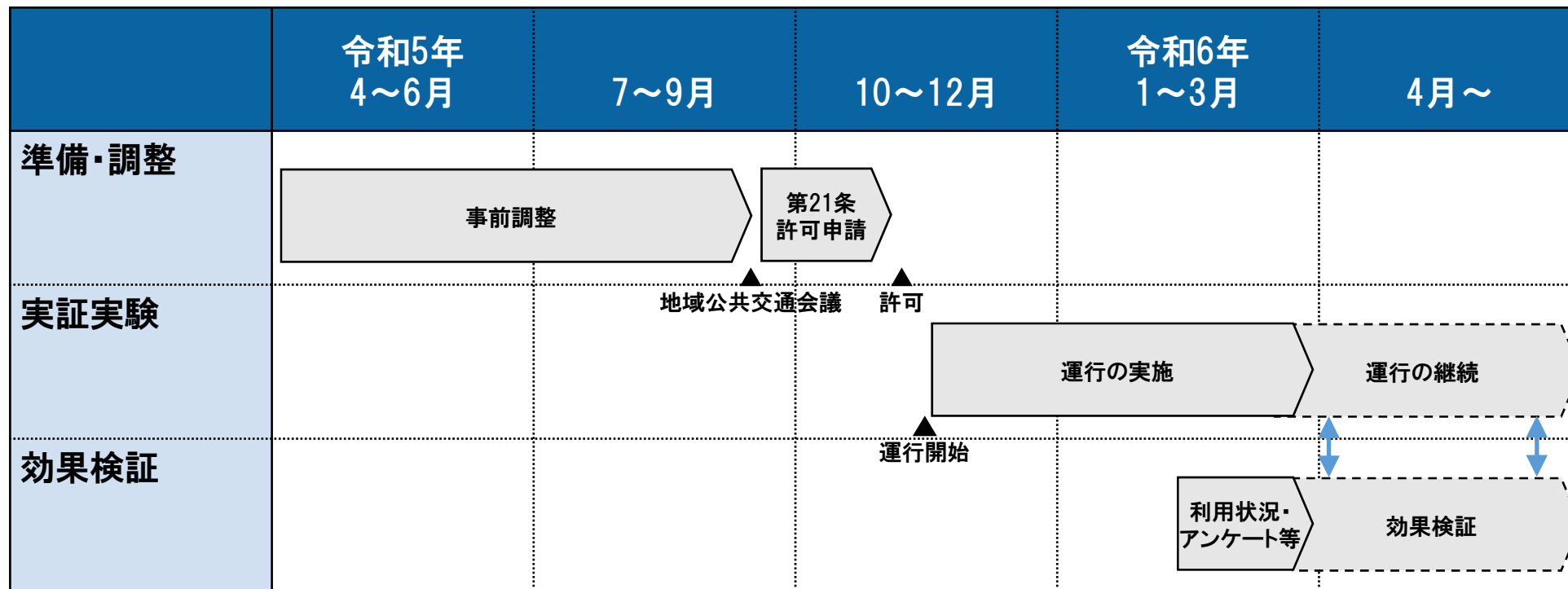


想定利用者数 約30人/日

議題(1) 令和5年度帰宅支援型タクシー実証実験(港南区永野・永谷地区)

■スケジュール

※ 関係機関と調整中の内容を含むため、今後、内容が変更となる場合があります



■利用周知

利用促進や移動サービス導入への意識醸成に向けた取組を実施

- ・利用案内チラシの全戸配布や、掲示板へのチラシ設置、各種施設へのチラシ配架など
- ・効果的な利用周知方法を自治会町内会とともに検討
- ・無料体験乗車を検討 など

■効果検証

帰宅支援型タクシーの導入による効果や課題を検証

- ・地域全体の移動の変化(移動手段と量の変化)
- ・利用者数(時間・曜日別)や停留所の利用状況などのデータ分析
(想定利用者数: 約30人)
- ・実験の認知・周知状況
- ・収支状況などから事業継続性の分析 など